

学校だより
第38号

報徳

R 3. 3. 24

校長 松下 公博

みんな、成長しました！

令和二年度が終了しました！

令和二年度が終了しました。新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休校が始まった今年度は、記憶に残るであろう一年となりました。常に感染の危機に気を配りながらの大変な状況が続きましたが、子ども達の頑張り

と保護者の皆様のご協力、先生方の知恵と工夫によってなんとか乗り越えることができました。様々なことに気づき学んだ一年でし

た。苦労も多かったのですが、それでもいつも子ども達の姿に励まされてきました。1年生は六月の入学でしたが、学校生活にも慣れて楽しく過ごしました。お別れ遠足では遊水地公園までみんな頑張って歩きました。2年生は1年生のために、学校を案内したり、ゲームで楽しませたりしてくれました。すっかりお兄さん、お姉さんです。3年生は勉強

を頑張りました。新しく始まった外国語活動では、ルース先生と楽しくお喋りしました。4年生は、ふれあいプロジェクトを大成功させました。地域の皆さんからたくさん感謝のお手紙が届きました。5年生は2月に阿蘇に集団宿泊に行きました。一人一人が規律・自主・協力を大切にして過ごしました。6年生は、運動会で素晴らしい演技を見せてくれ

ました。演技後の誇らしげな顔が印象的でした。また3学期には私と一緒に合奏に取り組みました。曲はホルストの「木星」です。修学旅行や卒業の準備など忙しい中でしたが、みんなよく頑張り練習しました。全学年に演奏を聴いてもらうことができました。それぞれの学年の子ども達や先生方の感想の言葉に、6年生の子ども達は達成感と自信をもち、卒業していく気持ちを高めました。

コロナ禍の中でも、このように子ども達が成長したのも、地域の皆様、保護者の皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございます。来年度も池田小学校をよろしく願います。

よみがえりました！

五年前の熊本地震の影響を受けた一人です。際に、上部に置かれた石の玉が落下してそのままでの状態になっていた。「報徳の碑」が三月十三日に修復されました。この碑は旧池田村の発展の基礎となった池田自治教育会や報徳会を記念して一九四四年に山田友記氏によって建てられたものです。七十年以上に渡って、池田小学校の子ども達を見守り続けています。自分たちはこれからも池田小の碑だけではなく、他に感謝しその恩に報いる行動を大切にしたいと報徳の教えは、池田小学校の教育に今も受け継がれています。大河ドラマ「青天を衝け」の主人公、渋沢栄一もこの教えに影響

